



**ALTIMA**  
PROTEIN SKIMMER

アルティマ DC プロテインスキマー

**1200P**

**取扱説明書**




この度は ZOOX アルティマ DC プロテインスキマーをご購入いただき、誠にありがとうございます。  
本説明書は、1200P に対応しています。  
ご使用に際し、この取扱い説明書をよくお読みいただき、使用方法と構造をよくご理解した上でご使用  
ください。お読みになった後は、いつでもすぐに読むことができる場所に大切に保管してください。

## 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用頂き、ご使用される方や他の人々への危害や損害を  
未然に防止するためのものです。

以下に、本書に使用している表示とその意味を説明します。誤った取り扱いをしたときに生じる危険と  
その程度を、次のように区分しています。

### 注意事項の区分


 <b>危険</b>	「人が死亡または重傷を負う可能性が差し迫って生じることが想定される内容」を表します。
 <b>警告</b>	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を表します。
 <b>注意</b>	「人が損害を負う可能性や、物的損害の発生が想定される内容」を表します。


### マークの意味


 <b>禁止</b>	 <b>強制</b>	 <b>電源プラグを抜く</b>
--	---	---


## 電源プラグ・電源コード・コンセントの取り扱い


### 警告

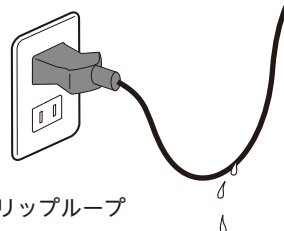
-  **電源は、交流 100V で、定格 15A 以上のコンセントを単独で使用する**  
交流 100V 以外での使用や、コンセントを他の器具と同時に使うと火災・感電の原因になります。  
延長コードが必要な場合は正しい定格のコードを使用してください。器具の定格より低いアンペア数やワット数対応のコードを使用するとオーバーヒートにつながる危険があります。

-  **電源コードや電源アダプターを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりしない**  
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

-  **濡れた手で電源の抜き差しをしない**  
感電の原因になります。

-  **電源アダプターは、根元まで確実に差し込む**  
感電や発熱による火災の原因となります。

-  **電源コードには必ずドリップループを設ける**  
水滴がコードを伝ってコンセントに接触しないようにしてください。火災・感電の原因になります。





ドリップループ


# 安全上のご注意 (つづき)

## 電源アダプター・電源コード・コンセントの取り扱い

### 警告


 水槽に手を入れる場合・メンテナンスを行う際は電源アダプターを抜く感電の原因になります。


 電源アダプターのほこりは、定期的に取り除くほこりなどがたまる、湿気などにより火災の原因となります。乾いた布で拭き取ってください。

 電源アダプターをコンセントから引き抜くときは、電源アダプターを持って引き抜くコードを持って引き抜くとコードが破損し、火災・感電の原因になります。


## 設置するとき


### 警告


 高温になる場所(火のそば、熱器具のそば、炎天下など)や、直射日光の当たる場所には設置しない  
禁止  
35℃以下の室内でのみ使用することができます。


 電源コード、アダプター、コントローラーに水がかかる場所には設置しない  
禁止  
感電・漏電することがあります。

### 注意

 本製品に衝撃を与えないよう、持ち運び・設置等の際の取扱いには十分注意する  
衝撃を与えると、破損・故障の原因になります。


 お子様には危険を及ぼす恐れのある場所には設置しない  
禁止


 屋外での使用や、放置をしない  
禁止  
発熱・破裂などの原因になります。

 ネジを締めすぎない  
禁止  
破損・故障の原因になります。


## 使用するとき


### 警告

 異常時(こげ臭いなど)は、すぐに電源アダプターをコンセントから抜き、使用を中止する  
発熱・火災の原因となります。購入された販売店もしくは弊社までご連絡ください。

 ポンプに水が循環できない状態かつポンプ内に水が満たされていない状態で動作させない  
故障や火災の原因となります。

### 注意

 本製品を改造・加工等しない  
禁止  
破損やケガの原因となります。

 推奨される用途以外での使用はしない  
禁止  
思わぬ事故や危険を招く恐れがあります。

## ●ご使用の前に



- ・本製品は内部式プロテインスキマーです。
- ・ポンプの停止による、生体等の補償は行っておりません。予めご了承の上、ご使用ください。

### ※重要

アルティマ1200P(プロモデル)は、ポンプの空転を未然に防ぐための安全装置が内蔵されているため、本体設置場所の水位が低下し、推奨水位を下回ってしまうと「Er1」と表示されポンプが停止します。

水位の変動が起きない設置スペースを確保できない場合は、推奨水位内で水位を維持できるように自動給水装置等のご使用をおすすめします。

ポンプは下記の注意事項を守ってご使用ください。

- ・水位の低下等でポンプが空運転しないように注意してください。
- ・本体に砂や異物が吸い込まれないようご注意ください。これにより深刻なダメージを受ける場合があります。また、この場合は保証の対象外となります。
- ・腐食性または研磨性のある液体でのご使用はお止めください。
- ・ポンプを持つ際は、コードを持ってポンプを持ち上げないでください。
- ・石灰藻やカルシウム成分、コケなどが付着しないように定期的に清掃を行ってください。
- ・アダプターをコントローラーに接続する際は、必ずアダプターがコンセントに接続されていない状態で行ってください。
- ・付属のアダプター以外を使用しないでください。

## ●仕様

Model	ポンプ最大消費電力 <sup>※</sup>	定格電圧 / 周波数	最大対応水量	空気流入量(L/h)	最大流量(L/h)	本体サイズ(cm)
1200P	36W(±5%)	100-240V 50/60Hz	1000~2000L	~1680	3000	W37×D23.5×H55

※コントローラーの消費電力は含まれていません。

対応水温：35℃以下

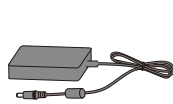
動作可能なサンプル水位：20~25cm

最も効率よく動作する水位：22~23cm

# ●パッケージ内容の確認 / 各部名称

本体と全ての付属パーツを箱から取り出し、輸送中の損傷等が無いかご確認ください。特にコード部分に傷が付いていないことをご確認ください。万一、損傷等が見られた場合は、使用せずに販売店にご連絡ください。

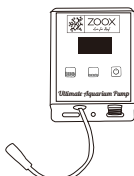
- プロテインスキマー本体
- ポンプ
- コントローラー
- アダプター
- 電源コード
- 採取カップ
- ポンプ吸水口パーツ
- ポンプ排水口パーツ
- エアチューブ
- イージーコントロールパイプ
- サイレンサー
- オリング
- 取扱説明書
- 保証書



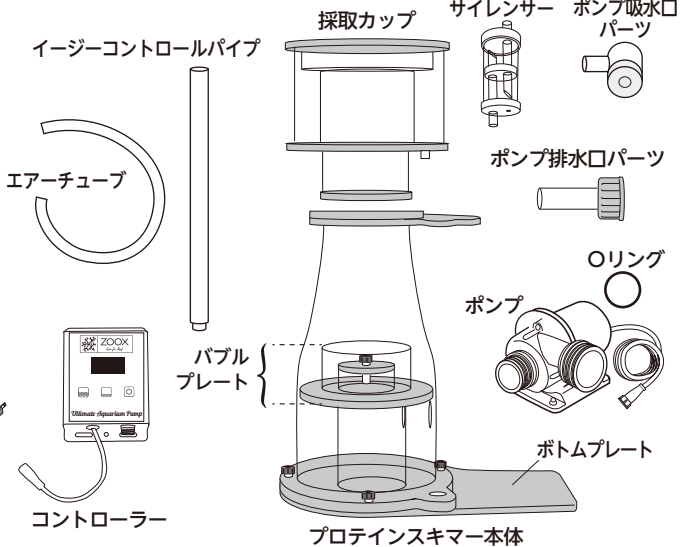
アダプター



電源コード



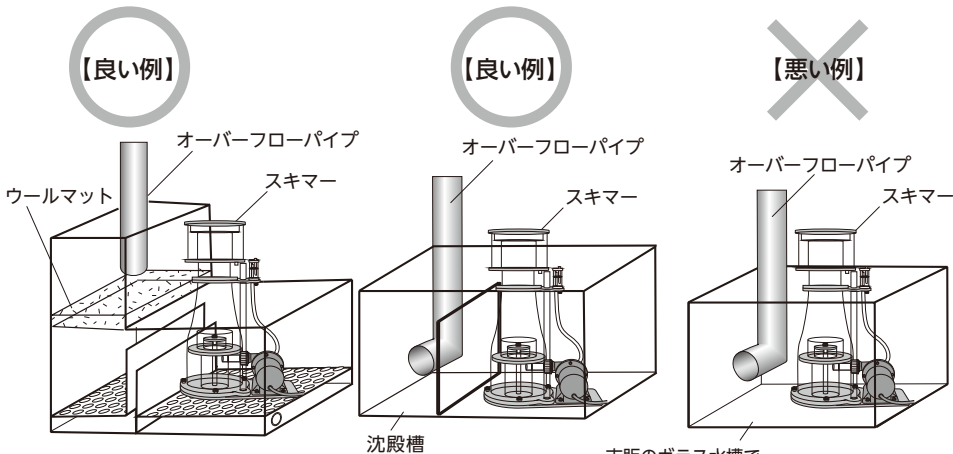
コントローラー



# ●ろ過槽について

プロテインスキマーを設置するサンプは、飼育水が物理フィルター（ウールマット等）を通してゴミのない状態でプロテインスキマー内部を通るような構造のものをお使いください。大きなゴミ（ライブロックの破片・サンゴ砂等）が詰まりポンプの故障につながる場合があります。

また、ベルリンシステム（プロテインスキマーのみ）で飼育する方も、同様にウールにて物理処理を行うか、ろ過槽に沈殿槽を必ず設けてください。



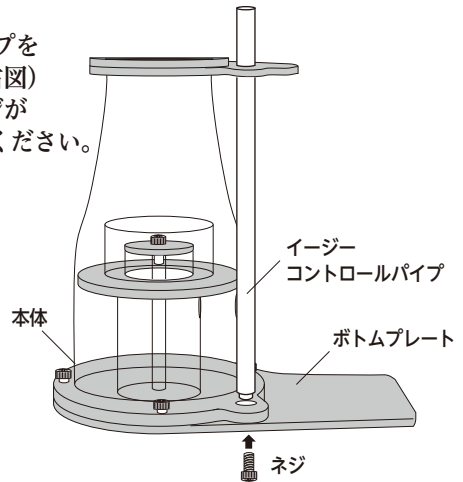
市販のガラス水槽で、物理フィルター（ウールマット）や沈殿槽のないろ過槽

# ●設置方法について

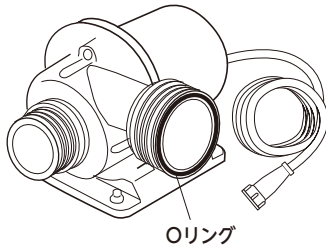
## はじめに

- ・ プロテインスキマー使用時には、粘膜保護剤やその他水の粘度があがる商品を使う事はできません。ご注意ください。
- ・ 水位の低下等でポンプが空運転しないように厳重に注意してください。
- ・ ご使用前に、本体とポンプをよく水洗いしてください。
- ・ ネジの締めすぎに注意してください。

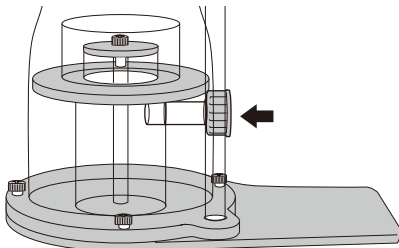
1. スキマー本体にイージーコントロールパイプを差し込み、底面側からネジで固定します。(右図) また、本体とボトムプレートを固定するネジが全てしっかり締まっていることも確認してください。



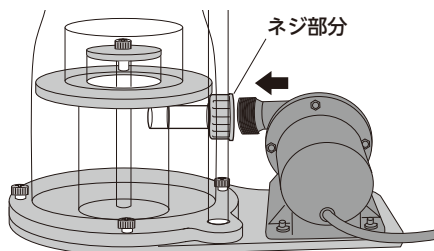
2. ポンプにOリングを取り付けます。



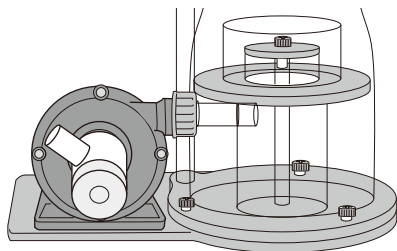
3. スキマー本体に、ポンプ排水口パーツを奥までしっかり差し込んでください。



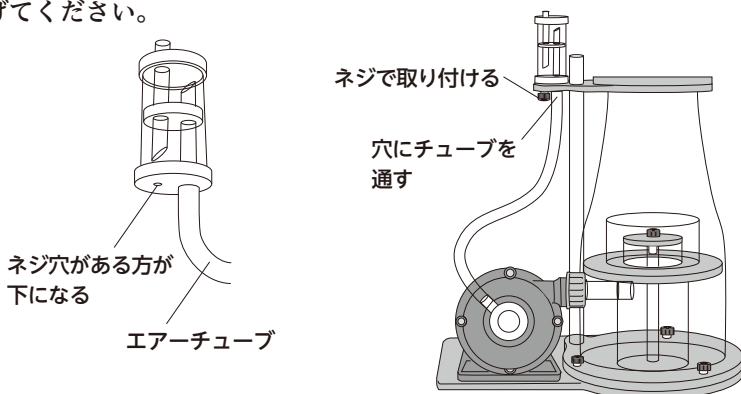
4. ポンプ排水口パーツにポンプを接続し、ネジ部分を回して固定してください。



5. ポンプに、ポンプ給水口パーツを取り付けてください。



6. サイレンサーを、スキマー本体にネジを使って取り付けてください。  
サイレンサー下部にエアーチューブを取り付け、ポンプ吸水口パーツと  
つなげてください。



7. 2ページの「ろ過槽について」を参考に、ろ過槽内に本機を設置してください。  
推奨水位幅を守ってご使用ください。

動作可能なサンプ水位：20～25cm 最も効率よく動作する水位：22～23cm

### ※重要

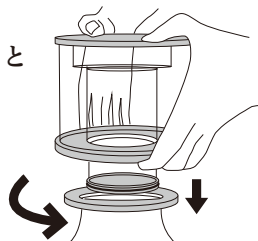
#### サンプ内の水位について

アルティマ1200P(プロモデル)は、ポンプの空転を未然に防ぐための安全装置が内蔵されているため、本体設置場所の水位が低下し、推奨水位を下回ってしまうと「Er1」と表示されポンプが停止します。水位の変動が起きない設置スペースを確保できない場合は、推奨水位内で水位を維持できるように自動給水装置等のご使用をおすすめします。

推奨水位幅よりも水位が高い場合はオーバースキミングの原因となります。

8. 採取カップは水漏れ防止のため、しっかりと押し込んだあと回転させてください。

9. 空運転しないようにポンプ内部に水を満たしてください。



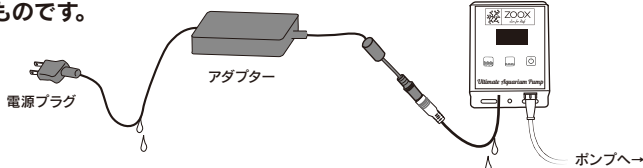
## ●コントローラーの接続

1. ポンプ・コントローラー・アダプターを下記の接続方法を参考にして繋いでください。



重要

コントローラーとアダプターのジョイント部分の間、アダプターとコンセントの間の2ヶ所に「ドリップループ」を施してください。「ドリップループ」とは、コンセントまたはジョイントの位置よりも下にあるコードの部分のことで、水がコードを伝わってコンセント等に接触するのを防ぐためのものです。



2. 本体が水中にあり、本体が水で満たされていることを確認してから電源プラグをコンセントに接続してください。

※ポンプが破損する恐れがありますので、空運転しないようご注意ください。

## ●スキマー内の調整用法

スキマー内の水位と泡の量を調整するには、2つの方法があります。併用して調整を行ってください。

### ①コントロールパイプ

排水量を0～100%まで調整できる可変式バルブです。(0%にすると空気排出口から水があふれますので実際は0%にはできません)

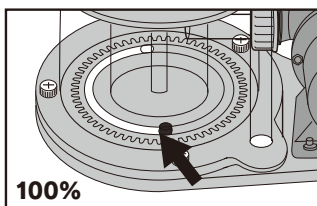
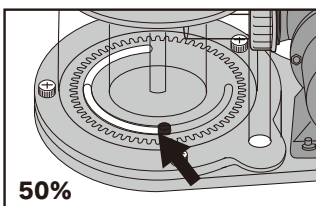
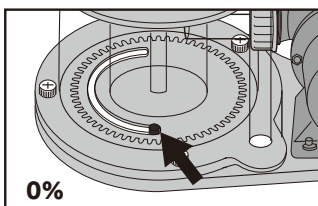
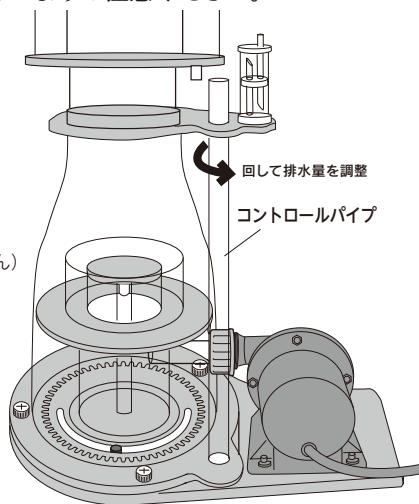
パイプを回してスキマー内部の水位が理想的な水位で安定するようセットしてください。(次ページ参照)

時計回りに回すと排水量が多くなり、反時計回りに回すと水位を上昇させることができます。



注意

回しすぎると破損の原因となることがあります。

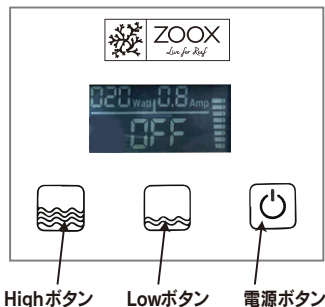




## ② 流量調整コントローラー

※各ボタンはタッチパネル式ですので、強く押し込まないでください。故障の原因となります。

※中央に表示される数字(RPM)は、インペラーの回転数を表します。流量を多くするとRPM(回転数)は上がり、少なくすると下がります。  
また、排水に抵抗がかかると設定された流量を維持しようとしてRPM(回転数)は上がります。



1. 「OFF」が表示されている状態で High ボタンをタッチするとポンプが動作開始します。
2. 「High ボタン」と「Low ボタン」で本体内の水位を調節してください。  
High ボタンをタッチして回転数を上げると、水流が強くなります。
3. 電源ボタンを 1 度タッチするとポーズモードになり、ポンプが停止します。  
※ポーズモードは約 30 分後に解除され、ポーズ前のパワーで動作が開始されます。
4. ポーズモードの状態でもう 1 度電源ボタンをタッチすると電源が OFF になります。



蒸発などで設置場所の水位が下がると、スキマーの能力が低下するだけでなく、ポンプが空気を吸い込み、壊れる原因になったり、エラーが表示され停止してしまいますので注意してください。

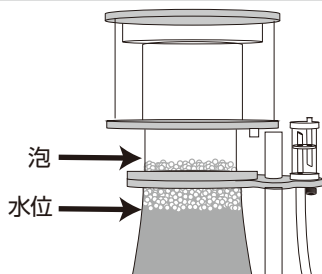


セット初期・水換え後、メンテナンス直後は泡が大量に発生する事がありますので定期的に確認してください。

## 調整の目安(汚れのとれ具合)

上記の方法で、カップ内に濃い茶～黒の粘性の高い汚濁物が溜まるように調節してください。

カップ内に薄い黄色～茶色の水が溜まっている場合は、泡の量や水位を下げて様子を見てください。



### 理想的な水位と泡のバランス

※セット初期や水換え後、添加剤を添加した後は図のような水位と泡のバランスが保てない場合がありますが、問題はありません。

## ●メンテナンスについて

- ・採取カップを週に一度は掃除してください。(汚濁物が3分の1以上たまった場合はその時点で)定期的に掃除をすることにより、より多くの汚濁物を除去することができます。その際に、洗剤等は使用せず柔らかい布等を使用し、ぬるま湯で掃除してください。
- ・週に一度はエアチューブ内の掃除を行ってください。  
エアチューブがつまると、エア流入量が低下し、能力が大幅に低下します。
- ・月に一度はモーター内部、インペラー、給水口パーツにカルシウムが沈殿し固着していないか確認し、固着がみられる場合は布やブラシを用いて除去してください。  
ブラシ等が入らない部分に関しては、酢酸溶液(イージークリーン)などを用いてカルシウム分を溶解させてください。

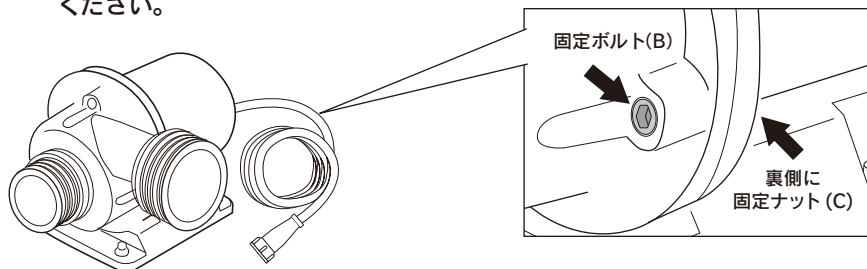
※必ず電源プラグをコンセントから抜き、通電していないことを確認してから行ってください。

※ポンプの構造をよく理解してから行ってください。

※洗剤や硬いスポンジやブラシを使用しないでください。

※電源コードやコンセントを清掃する際は、乾いた柔らかい布で清掃してください。

- ※ 市販の六角レンチ 4.0mm(付属していませんので別途ご用意ください)を使い、固定ボルト(B)を取り外します。この際に固定ナット(C)を紛失しないように注意してください。



### 各部名称

A ポンプカバー

B 固定ボルト

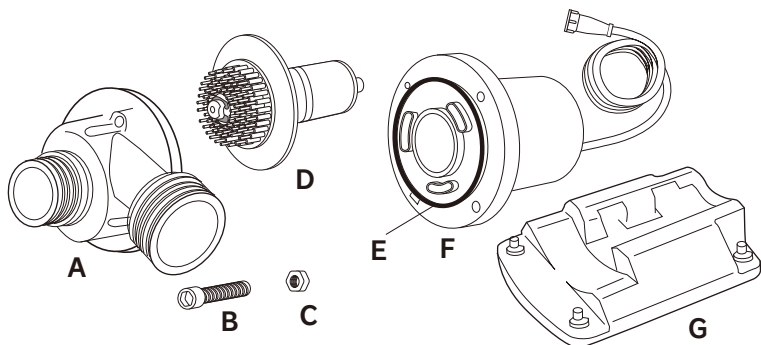
C 固定ナット

D インペラー

E Oリング

F ポンプコア

G ポンプマウント



## ●消耗部品について



下記のパーツは消耗品です。定期的な確認と交換を行ってください。  
Oリング・インペラー・ポンプ・エアチューブ

## ●アルティマスキマーの保証について

- ・インペラー・モーター等の消耗品部分は、お客さまの使用状況により消耗の頻度が異なるために保障期間内であっても商品の交換はできませんのでご了承ください。
- ・本製品の使用等による万一の生体の死亡等の保証はお受けできません。

## ●エラーコード解決方法

エラーコード	原因	解決方法
Er01	空運転	ポンプ設置場所の水位が低くなっていないか確認してください。必要であれば水足しを行ってください。
Er02	低電圧	純正の専用のアダプターに接続されているか確認してください。ヒーターやクーラー、照明器具等とタコ足配線で使用すると、低電圧になる可能性があります。周辺器具の配線を見直してください。改善されない場合は、販売店もしくは弊社までご連絡ください。
Er03	高電圧	純正の専用のアダプターに接続されているか確認してください。改善されない場合は、販売店もしくは弊社までご連絡ください。
Er04	給水・排水圧異常	給水もしくは排水に抵抗がかかっていないかを確認してください。
	異物混入・よごれ	ポンプを分解・清掃してください。
Er05	電流異常	純正の専用のアダプターに接続されているか確認してください。改善されない場合は、販売店もしくは弊社までご連絡ください。
	異物混入・よごれ	ポンプを分解・清掃してください。

※すべてのエラーコードは、ポンプを自動的に停止させます。問題解決後、ポンプを再起動してください。



ポンプの停止による、生体等の補償は行っておりません。予めご了承ください。

## ●よくある質問 Q&A

### ・採取カップに水が溢れてしまう。

---

ろ過層の水位とスキマーの適正水位が同じかを確認してください。

もし、使用している添加剤がある場合は、スキマーへの影響があるものでないかを確認してください。

水槽の立ち上げ期間、サンゴフード等の添加剤を添加した後はこのような症状になる場合があります。イーザーコントロールパイプを調節して水位を下げるか、ポンプコントローラーでポンプ流量を調節してください。

また、粘膜保護剤は使用できません。一度でも粘膜保護剤を添加すると数回の水換えが必要になります。

### ・泡がすぐにはじけて採取カップまであがってこない。

---

ろ過層の水位とスキマーの適正水位が同じかを確認してください。

また、水槽の立ち上げ期間、水換え後、添加剤を添加後はこの症状がみられることがあります。その際はしばらく様子を見てください。

### ・Oリング部分からの水漏れ、空気漏れがある。

---

各Oリング（ゴムパッキン）は様々な要因で劣化してしまいます。定期的な確認と交換を行ってください。

### ・ポンプが動かない。

---

ポンプは消耗品です。使用に伴い、劣化してしまいます。定期的に交換してください。また、水位低下による空回りはポンプに大きなダメージを与えます。十分に注意してください。

### ・ポンプは動いているが、泡が発生しない。

---

エアチューブからポンプ吸水口パーツにかけてほこりや塩分が詰まっていると空気を吸い込めず、泡が発生しません。定期的にこの箇所の清掃をしてください。

### ・スキマー内の気泡が大きすぎる。

---

水槽内の塩分濃度を確認してください。塩分濃度が低いとスキマーの効果を発揮できません。

### ・イーザーコントロールパイプが回らない。

---

イーザーコントロールパイプの底面のネジまたはポンプマウントを調整してください。

## ●万トラブルの場合

トラブルやわからない事が発生した場合は、当社ホームページからお問い合わせ、もしくはお名前と症状をご記入いただき下記 E-mail へご連絡いただくか、ご購入のお店にお問い合わせください。

お問い合わせ E-mail : [info@mmccplanning.com](mailto:info@mmccplanning.com)